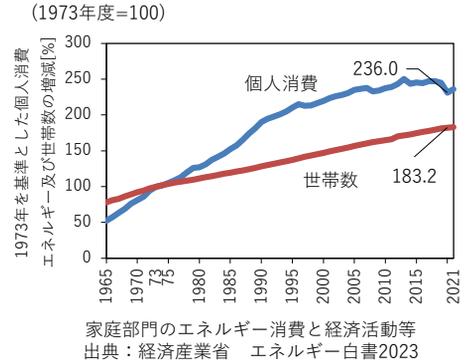


住宅におけるライフスタイルに応じた 省エネ・省力化性能評価方法の構築

■ 研究背景

- ・住宅のエネルギー消費量は長年**増加傾向**にある¹⁾
- ・内閣府によると、日本の家事労働を貨幣評価すると100兆円を超える²⁾
→スマート家電の普及が遅れている
→省エネや省力化の効果が**不明確**であるため



- 1) 経済産業省 資源エネルギー庁：部門別エネルギー消費の動向（2020）
- 2) 内閣府経済社会総合研究所：無償労働の貨幣評価（2019）

■ 研究目的

- ・スマート家電を使い、家事を自動化することによる**省エネ効果**や**家事時間の削減効果**を明らかにする
- ・**満足度**という心理的な側面でも省力化の効果を評価する

■ 研究概要

- ・**家事**の負担は家族構成や職業形態などの**ライフスタイルによって異なる**
→**アンケート**を行い、様々な家庭で負担の大きい家事の作業を明らかにする

研究フロー

アンケート項目
作成



家事に関するアンケート項目を考案しアンケート作成

アンケート実施



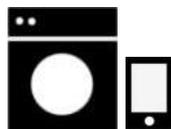
400人前後の方に家事などに関するアンケートを行う

アンケート分析



ライフスタイルにより、家事がどう変化するかを分析

省エネ・省力化
満足度調査



スマート家電を使うことによる効果を明らかにする